

川だ！山だ！冒険だ！でも帰ったら翌日から学校だ！！

2009.8.28(金)～30(日)

2009カヌー隊夏キャンプ



今年も活動の集大成である夏キャンプだ。県連通達の「新型インフルエンザの対応」及び「夏季の諸活動に向けて」を遵守して計画を進めた。キャンプから帰った翌日は学校であるが、ご父兄からはスカウト達が早く宿題を終わらせなければならないのでかえって良いとの話もある。スカウト達の退路を絶つ作戦なのだ。6時20分集合で天気は快晴、これより常磐道を南下し、外環道を経由し、関越道で埼玉県大里郡寄居町の第一の活動ポイントであるカヤック訓練をに向かう。約2時間半の旅となった。



6:20集合。朝日がまぶしい。今回の参加は、スカウトは、ウサギ④・シカ①・クマ③と、隊長・副長・デンリー②・ボーイ隊長・団委員長の総勢14名となった。残念ながらクマ1名は、発熱のため参加見合せとなってしまった。でも、新インフルではなくて良かった。



車中で盛り上がるスカウトたち。かなり五月蠅いぞー。(Hデンリー撮影)





三芳SAで休憩。遊具で遊ぶお子ちゃまたち。



おや？ クジラに乗っているスカウトの様子がおかしいぞ！



クジラに、はまっちゃったが無事救出される。



戦いの前の牛久沼賊の河童(英語でレインコートと言う)軍団。



各艇発射ー！今から上流を目指せ！



イカダになり休憩中。

なんだ！このカヤックは、まっすぐに進まんぞー！小見川の訓練で使用したものとタイプが違う！なんか長さが短いでねーか？リバータイプのカヤックらしい。なぜか左に回るぞ！回り始めて慌てて左を漕いでも左に回る。なぜだ？わけ分からんぞ！残ったものは、筋肉の乳酸(疲労)とストレスだけであった。やはり、沼で育った河童は流れには弱いらしい。

今回カヤック訓練でお世話になったのは、「カヌーテ」さん。オーナーが撮影した当日の写真がHPから見れるぞ。

<http://www.kanute.co.jp/main/phot09/090828/090828kayak.htm>または

カヌーテ

検索





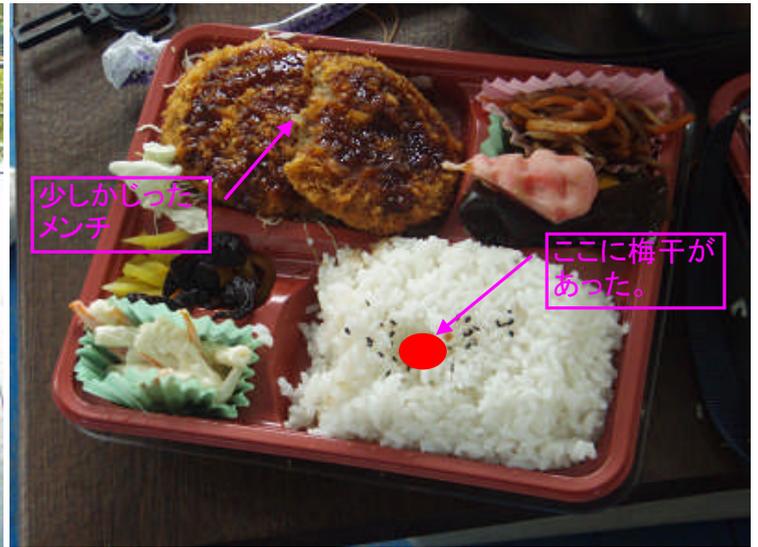
上流の河原で小休止とパドリングの練習。と、ボーイ隊長とM副長は水面石投げの自慢。どうだ！参ったか？



回転するカヤックに悪戦苦闘中。もうどうでも良いや状態なのだ。



腹へったぞー！メシだー！メシだー！いただきます！



少しかじったメンチ

ここに梅干があった。

おー、これは！ボリューム満点のメンチカツ弁当。500円



手前から3番目の人がインストラクターのメグロさん。オリジナルのインフレーター(空気で膨らますタイプ)カヌー販売の「Ours」のオーナーでもある。

<http://www.d1.dion.ne.jp/~ours/index.htm>

* 現在HPIは、見られるが不調のようだ。

隊長とM副長は、午前中、足が締め付けられて苦痛との戦いであった。なんと、子供用のカヤックにさせられたようだ。午後からは、クマスカウト1名が、かなり上達したようでなぜかまっすぐに漕いでいた。なぜうまく漕げるか聞いたところ、本人曰く「分かんない」そうだ。人は皆、何らかの天性があるようだ。それから、M副長もコツを掴んだような、掴まないよな。何事も奥が深いなー。でも、こんなカヤック二度と乗るものか！訓練とはいえ、やはり楽しくなければならん。



ダム付近で、インストラクターに撮影してもらった集合写真。全員を入れると、ちと見えない。2艇合流不能であった。本日の漕いだ距離は、午前・午後で約8km。腕が痛い。なぜか股関節も痛い。

埼玉県 野外活動 センター

午後5時ちょっと前に宿泊先である秩父市高篠山の中腹の標高736mの野外活動センターに、狭くてクネクネの道を通り到着。ここを拠点に活動行う。とりあえず、まずは腹ごしらえ。駐車場からセントラルロッジまで個人装備と共有品を搬送する。「自分の荷物は自分で背負え！」By M副長。でも、ロッジからキャンプサイト(スクールテント)までは下り坂をまだまだ移動せねばならんのだ。



夕食。バイキングなのだ。なんだそのフライドポテトの山は！



赤いカップ。みんな良い色に焼けているぞ。(Hデンリー撮影)



1組テントの寝具準備風景。



2組テントの寝具準備風景。

初日終了。ズズズズズ



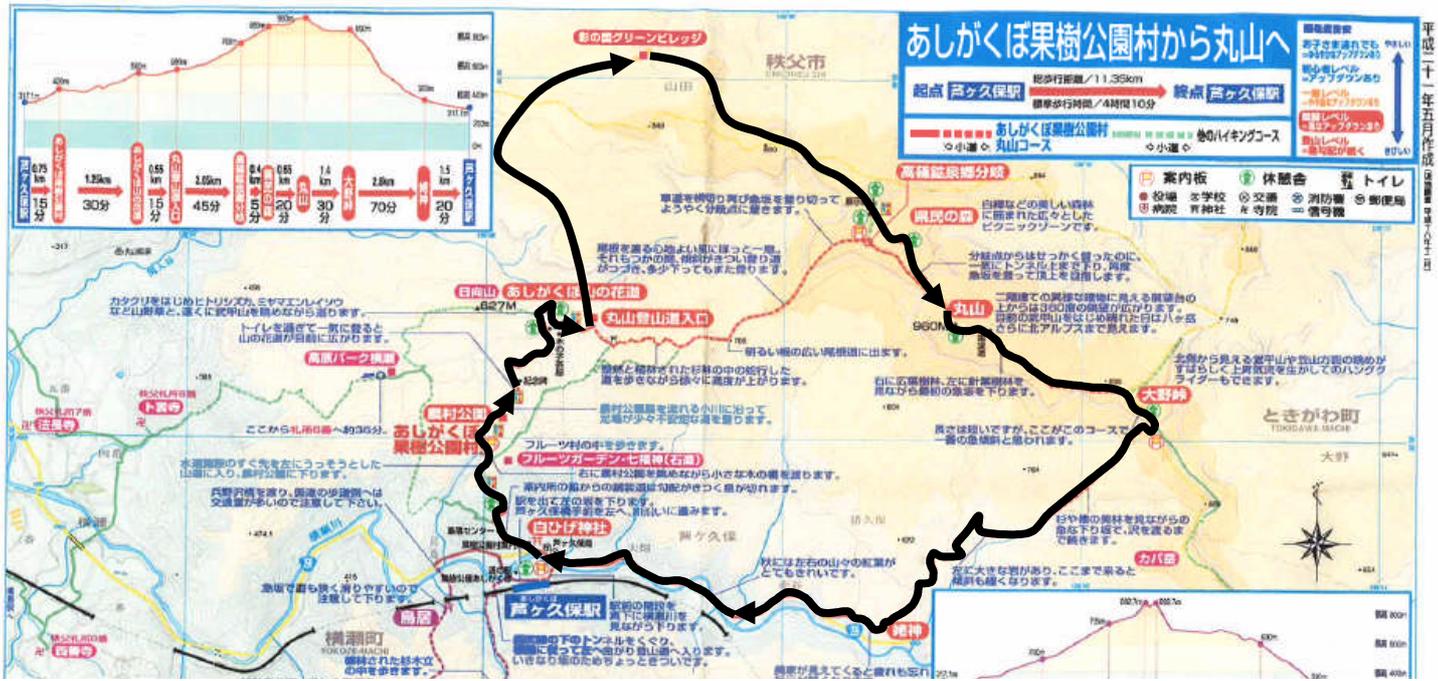


2日目の朝。国旗掲揚。もちろんラジオ体操もやった。うーん。体中が痛い。



朝食後にハイキングに出〜発！9:00スタート。距離約15km(たぶん?)標高736mの野外活動センターから頂上の960m丸山に登り、そこから317mの芦ヶ久保道の駅まで下り、昼食後にまた736mの野外活動センターに戻るのである。これってハイキング?個人的には登山だと思う。

これがコースの全容だ。



県民の森から頂上の丸山展望台を目指す。出発して1時間。めげているスカウトには、「勇気の杖」を作ってやった。



丸山展望台で小休止。石灰石を採掘してピラミッドみたいになった武甲山が見える。



大野峠。何をみているかと言うと……



これだー！ パラグライダーであった。目の前で飛び立つところを見れるとは「超・ラッキー」



これからは人工林をずーっと下って行く。この付近でクマが確認されたようだ。M副長談「3歳までの熊には勝てる」

帰りの登りに突入だが、クマとウサギの体力差と、夕食は飯ごう炊飯のカレー作りの予定もあり、クマさんチームとシカ・ウサギさんチームに分かれての行動とした。クマさんチームのペースからすると、シカ・ウサギさんチームが到着する頃にはカレーが出来上がっているはずが、途中からルートを誤り道路ルートを進んでしまったようだ。クマさんチームよりはるかに遅れていたが、泣き泣きでもコツコツと山道を歩いた成果である。クマさんチームに勝ったシカ・ウサギさんチームの達成感と喜びと思えば、それはそれは大きなものであった。まるで「ウサギとカメ」物語のようである。M副長は疲労困憊のため、河原から活動センターまでの間、写真を撮ることさえ忘れてしまった。そういえばキウイのトンネルがあったな――。



道の駅で、美味しい盛り蕎麦を食べてエネルギー補充。付近の河原でクールダウン。で、あいつとこいつがこけて濡れた。



クマさんチームに勝った勢いで、そのままカレー作りだー！ M:「こうなりゃシカ・ウサギチームで晩飯を作るぞー」 S:「オレは何をすれば良い。」と大張り切りである。 M:「まずはヤカンにお湯を沸かせ！お湯があれば調理時間が短縮できる。」(号外M副長新聞第31号を参照) M副長の心の声:「デンリー2人が一緒に居て良かったな。ちびっ子スカウトもかなりの戦力だ。」 M副長流「炎の料理は、ボウボウと燃やせば良いってもんじゃねーぞ。ピンポイントで狙うのじゃー。火を制するものが晩飯を制する。火でイタズラするヤツは今晚、寝小便するぞ！(疲労の影響で子供相手に段々とわけ分からないことを言い出した)」結果的に炊飯は、対面で同時に点火した温めるだけの「玄関開ければすぐ佐藤のご飯」の男女混合チーム6人組より早く焚けた。「勝ったー」。カレーも具を炒めて煮込んでいた頃クマさんチームが到着したので。最後の調整と味付けはお願いした。と言うか、疲労のためやっってもらうしかなかった。でも、この後キャンプファイヤーがまだ残っている。ガックシ。食事風景の撮影も忘れてしまったがな。



夕食途中から雨。でもご安心。雨天用ファイヤー場があるのだ。ボーイに上進のクマ3名と、通称：団長(正式には団委員長だそうだ。)による点火の儀。



スタントの打ち合わせ中の1組。



こちらは、2組。



Tデンリーのスタント。これは肩たたき「もしもしカメ」。左右の手が別動作の「ポニョ」もあったがかなり難しい。

2日目終了。ズズズズズ

リーダーテント内は、「うー・うー体が痛い！」



篠竹でウグイス笛作り。時間切れで作成できず。残念！
今度作ってやっからな。



テントサイトから、共有品を持ち上げる。8頭立てのカブ馬車だ。

これを作成中に、Hデンリーと、ボーイ隊長からメールで良いアングルの写真が送られて来たが、編集に手こずったので、次からのページをご覧ください。(M副長はこれを新しい手法と呼ぶ。正式には手抜きか?)

ボーイ隊長の写真館

*手抜きコメントはM副長



出発前の集合の写真。



2日目朝の風景。



2日目朝の国旗掲揚の風景。



2日目朝のラジオ体操の風景。



パン・ご飯・お粥？炭水化物3兄弟か？オカズはひじき煮だけか？！



ス:「オレの食生活を撮らないでくれー」

Portrait studio Hデニリー

*手抜きコメントはM副長



初日夕食の風景。「ポーっ。」



2日目朝の風景。「ポーっ。」



ラジオ体操の風景。「体が痛〜い」



朝食後の風景。「う〜ん？」



朝食後の風景。「これでどうだ！」



ハイキング？登山？「出〜発！」



丸山展望台へ向かう。なぜか笑っているボーイ隊長とM副長。笑っていただけるのもここまでか！



ス：「隊長……………」



森林学習展示館で小休止中。



ひえ～～！また登りかよ！



今年も出たな！朴葉(ほおば)怪人め！正体は「ほおば隊長である。」



丸山展望台。全員で記念写真。「パンシャ。」





この人は、300本(回)以上飛んでいるようだ。何事にも物好きはあるもんだなー。



リーダー及びご父兄の皆さん。懐かしのスカイハイのテーマをご覧ください。Blown round by the wind
Thrown down in a spin・・・(テテテテ)



大野峠からの下り道。道の駅はもうすぐだ。でもこれからが結構長かった。



道の駅脇の川で水遊び。このクマ3人はボーイに上進決定！



帰り道の上り坂に突入！へろへろ状態。M:「おい！ペロ出てるぞ！」



M:「なんだ！このほっかむりの怪しい男は?!」
M:「な～んだ。自分か。我ながらかなり怪しい。」





カレーの仕上げは、隊長よろしく。



まだまだ元気だ。数名はへろへろ。でも、良く頑張ったぞ。



クマ3名+通称:団長による点火の儀。



最終目朝の2組テント片付けの風景。



国旗掲揚の風景。



ラジオ体操の風景。体が痛い。昨日より動きが悪い。

け・け・健脚レベルとな！このコースに活動センターまでを足すと超健脚コースじゃなか！

丸山「あしがくぼ果樹公園村から丸山へ」は…こんなコース！

START 芦ヶ久保駅 標準歩行距離 11.35km 標準歩行時間 4時間10分 GOAL 芦ヶ久保駅

健脚レベル 急なアップダウンあり

きび

季節の果物がたわわに実る果樹公園村、カタクリや山野草の群生が見られる山の花道を経て丸山へと向かうコースです。

次ページへ



1組みんなで、テント脇でハイ、ポーズ。



2組みんなで、テント脇でハイ、ポーズ。ボキャ薄っ！



カブ馬車？発車——！御者(馬車の前部に乗って馬を操り、馬車を走らせる人。)はボーイ隊長。



M:「誰だー。M副長のことを竹富島の水牛車と言っているのは？でも近いものがある。」



御者「ハイヨー！シルバー！」 M:「出た！古るっ。ローンレンジャーだ。」でも、この掛け声で勢い良く走り出したぞ。



無事に帰着。ほっとするまもなく明日から学校だ！

今回は、13ページの大スペクトラルの長編の大作となっ
てしもうた。でも、この勢いでもう1ページ追加
だ———！！！！今回は、見ごたえ満点だ——！



ハイキング? 登山? 2チームのルート図



歩いた距離は、さほど変わらない
と思われるぞ。ポン!

凡例

- : シカ・ウサギチーム
- : クマチーム

